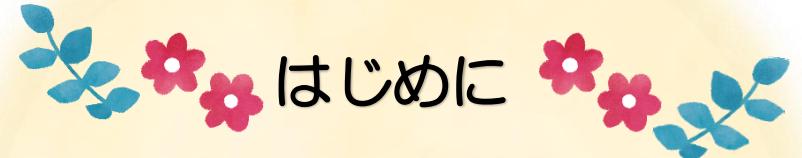


はじめてであうえほん

—0・1歳向け—



相模原市の図書館



0・1歳の赤ちゃんは、お父さんやお母さん、身近な人たちの声掛けに反応し、次第に言葉を覚えていきます。膝の上の温もりや優しい声は、安心感に繋がり、成長していく上でその子の大きな力になります。

赤ちゃん絵本は、絵だけで楽しめるものも多く、絵を通して新しい言葉に触れたり、擬音語・擬態語などの音を楽しんだりすることができます。このリストでは、絵本を赤ちゃんに身近なテーマごとに分け、最後にわらべうたについて紹介しています。

絵本やわらべうたを通して、目や耳から言葉を楽しむことで、子どもたちの世界はどんどん広がっていきます。どうぞ、本との良い出会いがありますように。



おとで あそぼう

じゃあじゃあ びりびり

まついのりこ／作 偕成社



普段の生活の中で出会う身近なものとその音が、親しみやすい絵で楽しめる絵本です。めくったページごとに、背景の色や文字の位置も変わり、視覚的な工夫もされています。赤ちゃんが自分でめくりやすい、小さめのサイズになっています。



だるさんが

かがくいひろし／作 プロンズ新社



「だるさんが」のリズムに乗って、右に左に大きく揺れるだるさん。ころんでしまうかと思いきや、とても愉快な姿を見せてくれます。

思わず笑ってしまう、表情豊かなだるさんをお楽しみください。



ぴょーん

まつおかたつひで／作・絵 ポプラ社



「ぴょーん」というかけ声で、かえるやバッタ、うさぎなどの生き物が次々にジャンプします。勢い良くジャンプする姿が、ダイナミックに描かれていて、ページをめくるたびに楽しい絵が飛び出します。



ぽんぽん ポコポコ

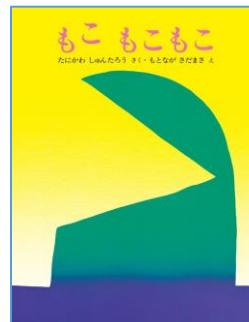
長谷川義史／作・絵 金の星社

「ぽんぽん ポコポコ」とおなかをたたきながら、いろいろな動物が出てきます。楽しいリズムとユーモラスな絵で、赤ちゃんも読んでいる大人も、みんな笑顔になる絵本。親子のコミュニケーションにピッタリです。



もこ もこもこ

谷川俊太郎／作 元永定正／絵 文研出版



不思議な形が「もこ」とあらわれました。どんどん大きくなつて、「よき」と出てきた別の形を「ぱく」と食べました。すると今度は……。

いろいろな形と擬音が面白く、次に何が起こるか楽しみな絵本です。





ふれあいを たのしもう



いないいないばあ

松谷みよ子／文 瀬川康男／絵 董心社

動物たちが、次々に「いないいないばあ」をしています。リズミカルな文章や動物の豊かな表情に、次は誰だろう？とページをめくるのがとても楽しみになります。

長い間愛され続けている絵本です。



おつきさまこんばんは

林明子／作 福音館書店

夜になり、屋根のむこうにあらわれたのは、まるいおつきさま。そこに黒い雲がやってきて、おつきさまをかくしてしまいました。

いろいろな表情のおつきさまを楽しめます。

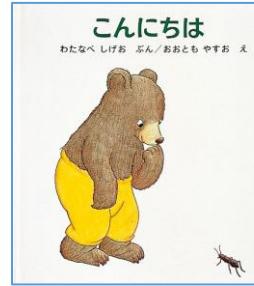


くつついた

三浦太郎／作・絵 こぐま社

「きんぎょさんと きんぎょさんが くつついた」「あひるさんと あひるさんが くつついた」いろいろな動物が登場し、みんな仲良く「くつついた」をしています。

言葉のくり返しが楽しい、ふれあいがいっぱいつまった一冊です。



こんにちは

わたなべしげお／文 おおともやすお／絵 福音館書店

くまくんが「おはなさん こんにちは。」「すずめさん こんにちは。」とあいさつします。さあ、次は誰にあいさつしましょう？

くり返しの場面展開がわかりやすく、自然にあいさつがしたくなります。

「くまくんの絵本」シリーズの一冊です。

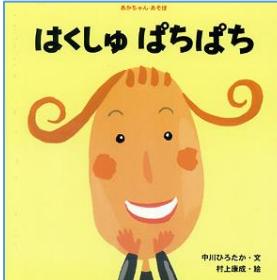


たんたんぼうや

かんざわとしこ／文 やぎゅうげんいちろう／絵 福音館書店

たんたんぼうやが歩いていきました。おさるに会つたらきやっきゅっと頭をかいて、おさるの真似。うさぎに会つたらぴょーんと飛んで、うさぎの真似。

親子で一緒に擬音を楽しみながら、動物たちの真似をしてみてはいかがでしょう？



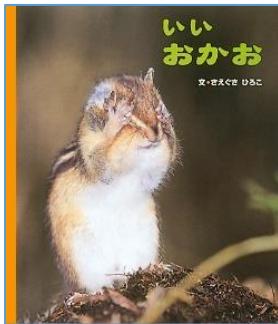
はくしゅぱちぱち

中川ひろたか／文 村上康成／絵 ひかりのくに

ねこやぞう、それにお母さんも登場して、さあ何をするのかな？あらっステキ！「はくしゅーぱちぱちぱち」

拍手をもらえるって嬉しいですよね。ぜひ、お子さんと一緒に拍手をしながら楽しんでください。

いろんなどうぶつみーつけた

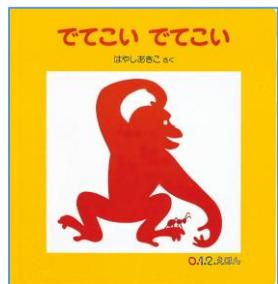


いい おかお

さえぐさひろこ／文 アリス館

ニッと笑ったヤギ。気取ってワインクしているチーター。キリリとすましたねこ。動物たちのユニークな顔がいっぱいです。

写真絵本ならではの、動物たちが見せる一瞬の表情をお楽しみください。

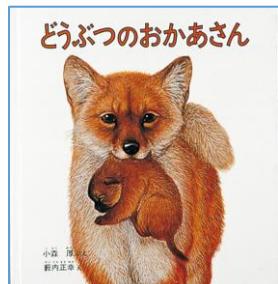


でてこい でてこい

はやしあきこ／作 福音館書店

ページをめくりながら「でてこい でてこい」と呼んでみましょう。カラフルな色の丸や四角のかけからいいろいろな動物が出てきます。

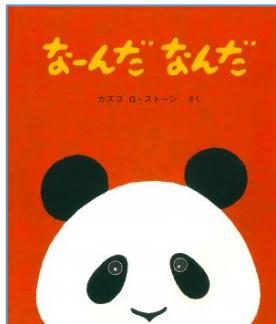
やさしい文章で、絵もはっきりしているので、初めて読む絵本にぴったりです。



どうぶつのおかあさん

小森厚／文 薮内正幸／絵 福音館書店

動物のお母さんたちが、子どもを運ぶ様子がリアルなタッチで描かれています。口にくわえたり、おんぶしたり、おなかにのせたりと、その動物ならではの親子のスキンシップがたくさん見られます。



なーんだ なんだ

カズコ G・ストーン／作 童心社

「なーんだ なんだ くろいのなんだ?」歌のような言葉にのって、ゆっくりゆっくり子どもたちの大好きなパンダが登場してきます。くりかえしの言葉とリズムを親子で楽しむ絵本です。

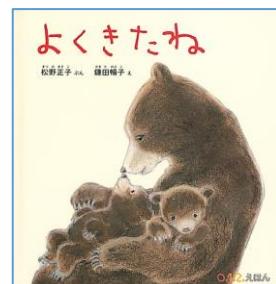


ねこが いっぱい

グレース・スカール／作 やぶきみちこ／訳 福音館書店

「おおきい ねこ」「しましま ねこ」など、様々なねこが登場します。背景が白地で、絵の輪郭もはっきりしているので、赤ちゃんにはとても見やすいようです。

姉妹本に、少し月齢が上のお子さん向けの『いぬがいっぱい』もあります。



よくきたね

松野正子／文 鎌田暢子／絵 福音館書店

「おいで おいで ここまで おいで」お母さんに呼ばれたよちよち歩きのこいぬ、こねこ、こぶた、こぐま、そして人間の赤ちゃんをお母さんが抱きしめます。

やさしい言葉で愛情いっぱいの絵本です。

おいしいね

だいすき！のりもの



くだもの

平山和子／作 福音館書店

すいか、もも、ぶどう……。みずみずしい果物の絵が一種類ずつ描かれ、次のページには「さあ どうぞ」の言葉とともに、皮をむいたり、切り分けられたり、すぐに食べられる状態の果物が登場します。

どれも美味しそうで、思わず手をのばしたくなります。



にんじん

せなけいこ／作・絵 福音館書店

「にんじんの すきなこ だあれ」
ページをめくると、ちぎり絵で描かれた動物がおいしそうににんじんを食べています。
次にどんな動物が出てくるのか、赤ちゃんと一緒に考えて楽しめる一冊です。



まるくて おいしいよ

こにしえいこ／作 福音館書店

まるくておいしいものって、たくさんありますね。この絵本の最初に出てくるのは、赤くてまるいものです。「これ なあに。」と、当てっこをしながら楽しめるようになっています。色や形に興味が出てくる頃にぴったりの絵本です。

がたん ごとん がたん ごとん

安西水丸／作 福音館書店



「がたん ごとん」ときしゃがやってきます。「のせてください」といって、ほにゅうびんがきしゃに乗り込みました。次の駅で待っていたのは、こっぷとすぶーん。終点で待っているのは……。
くりかえしのリズムが楽しい絵本です。



のせて のせて

松谷みよ子／文 東光寺啓／絵 童心社

まこちゃんがブーとじどうしゃを走らせます。うさぎが手をあげて乗ってきました。くまもねずみの親子も次々と乗ってきます。

さあ、まこちゃんのじどうしゃはどこへいくのでしょうか？



ぶーぶーぶー

こかぜさち／文 わきさかかつじ／絵
福音館書店

赤いじどうしゃは「ぶーぶーぶー」、青いじどうしゃは「ぶーぶーぶー」。様々な色のじどうしゃが登場します。最後には大きい車が「ぶーぶー ぶわーん」。
お子さんといっしょにオノマトペを楽しみながら読んでください。

わらべうた

子育てとわらべうた

～わらべうたは赤ちゃんの心の栄養～

「かごめかごめ」や「だるまさんだるまさん」など、昔から口伝えに受け継がれてきた作者がわからぬいうたのことを「わらべうた」といいます。

赤ちゃんが人として育つには、目と目をあわせてふれあうことが大切です。

おむつをかえる時、あやす時、おふろにいれる時、寝かせる時など、生活の様々な場面でゆったり話しかけたりわらべうたをうたったりすることは、赤ちゃんと心を通わせ、信頼関係を築くことにつながります。

わらべうたは心地よいリズムと短いフレーズでできていて覚えやすいので、ぜひうたってあげてください。

おでかけ先で赤ちゃんがぐずる時、お気に入りのわらべうたをうたってみてください。安心して落ち着くかもしれません。

わらべうたの動作は、動くものを目で追う、物をつかむ、ハイハイする、立つ、歩くなど赤ちゃんの身体的発達を助ける面もあります。



あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん

小林衛己子／編 大島妙子／絵 のら書店

ねんねの赤ちゃんから幼児まで楽しめる、わらべうたとその遊び方が紹介されています。メロディがない「となえうた」もあるのでうたうのが苦手な人でも心配いりません。赤ちゃんのお気に入りの歌を見つけて、くりかえしうたってあげてください。



あかちゃんとわらべうたであそびましょ！

さいとうしのぶ／構成・絵 のら書店

赤ちゃんと遊べる心地よいわらべうたがたくさん載っています。お父さん、お母さん、お子さん、みんなで遊びましょう。



ほかにこんな絵本も

あがりめ さがりめ

ましませつこ／絵 こぐま社

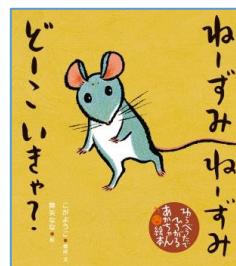
～「おかあさんと子どものあそびうた」シリーズ～



ととけっこう よがあけた

こばやしえみこ／案 ましませつこ／絵 こぐま社

～「わらべうたえほん」シリーズ～



ねーすみ ねーすみ どーこ いきゃ？

こがようこ／構成・文 降矢なな／絵 童心社

～「わらべうたでひろがるあかちゃん絵本」シリーズ～

わらべうた会のご案内

図書館では0歳から2歳ぐらいまでのお子さん向けた「わらべうた会」を開催しています。手遊びをしたり、歌を歌ったり、絵本を読んだり……。一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか？

詳しくは各図書館にお問い合わせください。

市立図書館

ひよこちゃんのわらべうた会 (0歳児向け)

毎月第1木曜日 午前10時30分～ ※事前申込制

ぺんぎんちゃんのわらべうた会 (1・2歳児向け)

毎月第4木曜日 午前10時30分～ ※事前申込制

会場：いずれも2階視聴覚室



相模大野図書館

親子であそぼう！わらべうた会 (0・1歳児向け)

毎月第3金曜日 (8月・12月を除く)

午前11時～ ※10時30分～受付

会場：4階 こどもの本のフロア おはなしの部屋



橋本図書館

つくしちゃんのわらべうた (0・1歳児向け)

毎月第1・3水曜日 (8月を除く)

午前11時～ ※10時40分～受付

会場：こどものほんのコーナー おはなしのへや



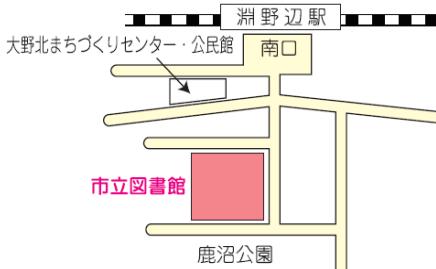
時間等は変わる場合があります。

図書館案内



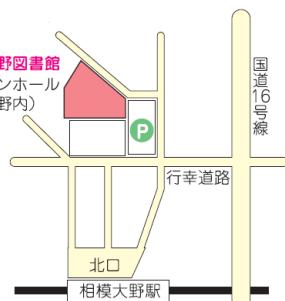
市立図書館

中央区鹿沼台2-13-1
042-754-3604



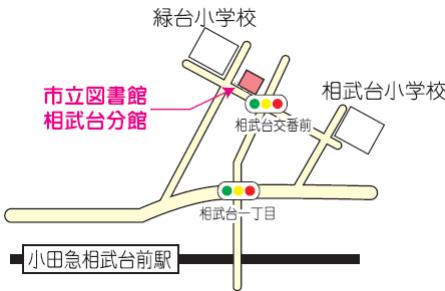
相模大野図書館

南区相模大野4-4-1
042-749-2244



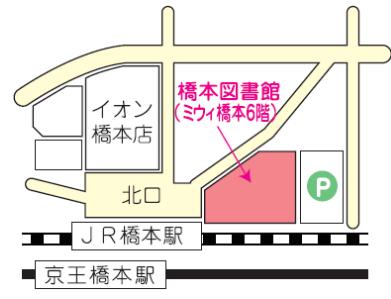
市立図書館相武台分館

南区新磯野4-8-7
046-255-3315



橋本図書館

緑区橋本3-28-1
042-770-6600



開館時間

火～金 午前9時30分～午後8時

土・日・休日 午前9時30分～午後6時

※相模大野図書館4階こどもの本のフロアは

火～日・休日 午前9時30分～午後6時

※市立図書館相武台分館は

火～日・休日 午前9時～午後5時

休館日

月曜日 (その日が休日の場合は翌日)

図書整理日・蔵書点検期間・年末年始

詳細については各図書館にお問い合わせください。

図書館の HP、フェイスブック、X は
こちらの QR コードからアクセスできます



相模原市の図書館
ホームページ



相模原市の図書館
Facebook



相模原市の図書館
X

図書館の HP はこちらからもご覧いただけます

<https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>

発行 令和6年4月
発行者 相模原市の図書館